



2023,06,06

NO. 251

(株) JR東日本ステーションサービス (JESS)

## 2023 年度夏季手当等に関する申し入れ

私たちの要求

基本給月額 (契約社員含む)

6月5日趣旨説明を行う!

夏季手当

3.2ヶ月分 + 10万円

	2021 年度 実績	2022 年度通期予想 (第 3 四半期決算時点)	2022 年度 実績
当期純利益	△2,500 万円	1 億 4,600 万円	2 億 8,200 万円

予想を上回る利益は、  
組合員・社員の奮闘があったからだ!

企業の責任として物価動向を重視した「人への投資」を強く求める!



### 趣旨説明で述べた私たちの主張

- 2022 年度期末決算は年度当初は厳しい予想だったが、黒字に転換した。組合員・社員がコスト削減やコロナ禍にあっても業務に向き合ってきた結果であり、夏季手当の満額回答で正しく評価すべきだ!
- 働き度が増しているにもかかわらず給与水準が低い。若手社員は将来に希望が持てず退職者が増加している。物価高にも賃金が追いついていない!
- 遠隔稼働時間の拡大により、車いすでご利用のお客さまの対応や券売機対応等でお客さまからの呼び出しが更に多くなり、休憩を取れない箇所が増えている!
- 遠隔化により出面が2徹から1徹になり、要員も削減されて休日勤務ありきの勤務体系になっている! 売店の回金作業も業務に組み込まれ労働密度は上がる一方だ!
- 出札窓口の徒列が常態化しており、話せる券売機の応答率も低く、お客さまを長時間お待たせしていることはサービスの低下であり、直ちに改善を図るべきだ!

### 会社から述べられた現状認識と主張

- ✓ 2023 年度は「JESS ビジョン 2023MOVE」の最終年度であり、目標達成に向けて努力して頂いていることに感謝申し上げる。営業費用は新規採用による増はあったが、出向負担金の減により人件費が減少し、増収増益になり黒字を達成した。
- ✓ 離職者が一定程度いるのは確かだ。これまでも手当の見直しなど働きがいの創出を図ってきており、退職理由は給与以外にもあると考えているが、組合の主張は受け止めたい。
- ✓ 駅によって忙しい時間帯は違う。今後も駅ごとに作業ダイヤを工夫し、被制御駅側の負担を考慮して対応していく。
- ✓ やみくもに人員を削減するつもりはない。駅の特情に応じて日勤者を配置するなど必要な対応は行なっていく。
- ✓ 多売期には体制を取り、話せる券売機はオペレーターの呼び出しを必要としない対応もあり、駅でご案内が出来る体制を進めている。本体とともにサービスを向上していける様に今後も協議していく。

全ての仲間の力で、働きがい・生きがい・心の豊かさを実感できる  
満額回答と労働条件向上を実現しよう!

